職業実践専門課程等の基本情報について

			丁年月日	1	長名			所在地			
専修学校国際電子	ビジネス	昭和58年	11 日 10 日		底 敏		900-0025 沖縄県那覇市壺川3	=			
専門学校							7年福宗那朝川並川3 098-833-6580				
設置者名		設立認可	丁年月日	代表	長者名	Ŧ	900-0025	所在地			
学校法人KBC!	学園	平成6年	3月14日	大城	え き永	(住所)	沖縄県那覇市壺川3	-5-3			
	1	】 忍定課程名						高度専門士認定	年度 職	業実践重	門課程認定年度
工業	•	<u></u>	情報ス	ペシャリスト			以18(2006)年度	一	<u> </u>		<u> 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1</u>
学科の目的	情報処理技	技術者としての基	 礎的な知識・技術	術を習得し、国	国家資格であ	L る「基本情報	服技術者試験」の取得を	を目指します。またベンタ 各種行事を通して、創造		OCJ-PをI	<u></u>
							指す学科。基本情報技行 和4年度の休退学率は			慢セキュリテ	ティマネジメント試
修業年限	昼夜	全課程の修了	ニ必要な総授業 単位数	時数又は総	講事	轰	演習	実習	実験		実技
2		※単位時間、単位し かに記入	1910	1 単位時間		単位時間単位	0 単位時間	1,511 単位時間 - 単位	- 単位 - 単位		- 単位時間 - 単位
生徒総定員		 	学生数(生徒実員		留学生割·		中退率	- 中位		L	
							, , ,				
55 人	50 ■卒業者			0 人 26	U	%	4 %				
	■就職希	望者数(D)	· :	26			_				
	■就職者	数(E)	:	26		人	- -				
	■地元就	職者数(F) (F/D)		19 100		<u>人</u> %	-				
		<u>(C/D)</u> に占める地元就!	戦者の割合(F/	E)			-				
	■☆樂本』	ー上ルフ☆啦士へ		42		%	-				
	■平耒有□	こ占める就職者の	ノ剖音 (E/U)	100		%					
	■進学者	数		0		人	- -				
	■その他										
	(令和	6年度	卒業者に関する名	合和6年5月	1日時点の情報	程)					
		職先、業界等	中来省(CK) が	11440 + 071	T 11 101 122 (A)	-1X /					
		~~ * ~ / + /							Ld. 15 A L1 —	- 	システム ヴィ
	(令和6年度 株式会社·		株式会社トヨイ	タレンタリー:	ス沖縄、株式	会計メイテ	- ックフィルダーズ、 創	和ビジネスマシンズ	株式会社フュ		7 A 1 A . ' 14
	株式会社·	テイ・アイ・シイ					- ックフィルダーズ、創 t会社、株式会社OCC	和ビジネスマシンズ、 〕、関越ソフトウェア株		I— 1 99.	2A) A
	株式会社マージ株式 マージ株式 ■民間の	テイ・アイ・シイ 式会社、株式会 評価機関等から	社国建システュ 第三者評価:								
第三者による	株式会社マージ株式 マージ株式 ■民間の	テイ・アイ・シイ 式会社、株式会	社国建システュ 第三者評価:				t会社、株式会社OCG 無	D、関越ソフトウェア株			
	株式会社マージ株式 マージ株式 ■民間の ※有の場合	テイ・アイ・シイ 式会社、株式会 評価機関等から	社国建システュ 第三者評価:				t会社、株式会社OCC 無	D、関越ソフトウェア株 評価結果を掲載した			
第三者による	株式会社マージ株式 マージ株式 ■民間の ※有の場合	テイ・アイ・シイ 式会社、株式会 評価機関等から 、例えば以下につ	社国建システュ 第三者評価:		±リウコム、C		t会社、株式会社OCC 無	D、関越ソフトウェア株			
第三者による 学校評価 当該学科の ホームページ	株式会社 マージ株3 ■民間の ※有の場合	テイ・アイ・シイ 式会社、株式会 評価機関等から 、例えば以下につ	社国建システム 第三者評価: いて任意記載	ム、株式会社 	±リウコム、C		t会社、株式会社OCC 無	D、関越ソフトウェア株 評価結果を掲載した			У Д, • У 1
第三者による 学校評価 当該学科の	株式会社で マージ株式 ■民間の ※有の場合	テイ・アイ・シイ 式会社、株式会 評価機関等から 、例えば以下につ 評価団体: ww.kbc.ac.jp/co	社国建システム 第三者評価: いて任意記載 ourse/it-specia	ム、株式会社 	±リウコム、C		t会社、株式会社OCC 無	D、関越ソフトウェア株 評価結果を掲載した			<i>Σ</i> Α, <i>Σ</i> , <i>Σ</i>
第三者による 学校評価 当該学科の ホームページ	株式会社 マージ株3 ■民間の ※有の場合 https://w	テイ・アイ・シイ・ 式会社、株式会 評価機関等から 、例えば以下につ 評価団体: ww.kbc.ac.jp/co z時間による算定	社国建システム 第三者評価: いて任意記載 ourse/it-specia	ム、株式会社 	±リウコム、C		t会社、株式会社OCC 無	D、関越ソフトウェア株 評価結果を掲載した			
第三者による 学校評価 当該学科の ホームページ	株式会社 マージ株3 ■民間の ※有の場合 https://w	テイ・アイ・シイ 式会社、株式会 評価機関等から 、例えば以下につ 評価団体: ww.kbc.ac.jp/co	社国建システム 第三者評価: いて任意記載 ourse/it-specia	ム、株式会社 	±リウコム、C		t会社、株式会社OCC 無	D、関越ソフトウェア株 評価結果を掲載した			
第三者による 学校評価 当該学科の ホームページ	株式会社 マージ株3 ■民間の ※有の場合 https://w	テイ・アイ・シイ・ 式会社、株式会 評価機関等から 、例えば以下につい 評価団体: ww.kbc.ac.jp/co z時間による算定 総授業時数	社国建システム 第三者評価: いて任意記載 ourse/it-specia	ム、株式会社 alist/basic/	±リウコム、C 受審年月:	LINKS株式	t会社、株式会社OCC 無	D、関越ソフトウェア株 評価結果を掲載した	式会社	立時間	
第三者による 学校評価 当該学科の ホームページ	株式会社 マージ株3 ■民間の ※有の場合 https://w	デイ・アイ・シイ・ 式会社、株式会 評価機関等から 、例えば以下につ 評価団体: www.kbc.ac.jp/co z時間による算定 総授業時数 うち	社国建システム 第三者評価: いて任意記載 ourse/it-specia	ム、株式会を alist/basic/ た実験・実習	生リウコム、C 受審年月: ピ・実技の授業	LINKS株式	t会社、株式会社OCC 無	D、関越ソフトウェア株 評価結果を掲載した	式会社	立時間	
第三者による 学校評価 当該学科の ホームページ	株式会社 マージ株3 ■民間の ※有の場合 https://w	デイ・アイ・シイ・ 式会社、株式会 評価機関等から 、例えば以下につ 評価団体: www.kbc.ac.jp/co z時間による算定 総授業時数 うち うち	社国建システム 第三者評価: いて任意記載 ourse/it-specia)	ム、株式会を alist/basic/ た実験・実習	生リウコム、C 受審年月: ピ・実技の授業	LINKS株式	t会社、株式会社OCC 無	D、関越ソフトウェア株 評価結果を掲載した	式会社 1,741 単位 211 単位	立時間立時間立時間	
第三者による 学校評価 当該学科の ホームページ	株式会社 マージ株3 ■民間の ※有の場合 https://w	デイ・アイ・シイ・ 式会社、株式会 評価機関等から 、例えば以下につ 評価団体: www.kbc.ac.jp/co z時間による算定 総授業時数 うち うち	社国建システム 第三者評価: いて任意記載 ourse/it-special 企業等と連携し 企業等と連携し 必修授業時数	ム、株式会を alist/basic/ た実験・実習 た演習の授業	生リウコム、C 受審年月: ピ・実技の授業	LINKS株式	t会社、株式会社OCC	D、関越ソフトウェア株 評価結果を掲載した	式会社 1,741 単位 211 単位 41 単位	立時間立時間立時間立時間	
第三者による 学校評価 当該学科の ホームページ	株式会社 マージ株3 ■民間の ※有の場合 https://w	デイ・アイ・シイ・ 式会社、株式会 評価機関等から 、例えば以下につ 評価団体: www.kbc.ac.jp/co z時間による算定 総授業時数 うち うち	社国建システム 第三者評価: いて任意記載 ourse/it-special) 企業等と連携し 企業等と連携し 必修授業時数	ム、株式会を alist/basic/ た実験・実習 た演習の授業 等と連携した	生リウコム、C 受審年月: 受審年月:	LINKS株式 実習・実技	t会社、株式会社OCC	D、関越ソフトウェア株 評価結果を掲載した	式会社 1,741 単位 211 単位 41 単位 1,376 単位 125 単位	立時間立時間立時間立時間	
第三者による 学校評価 当該学科の ホームページ URL	株式会社 マージ株3 ■民間の ※有の場合 https://w	デイ・アイ・シイ・ 式会社、株式会 評価機関下についます。、例えば以下についまでは、例えば以下についます。 評価団体: www.kbc.ac.jp/cont な時間による算定 総授業時数 うちっち	社国建システム 第三者評価: いて任意記載 purse/it-special 企業等と連携し 企業等と連携し 必修授業時数 うち企業 うち企業	ム、株式会を alist/basic/ た実験・実習 た演習の授業 等と連携した 等と連携した	主リウコム、C 受審年月: ・実技の授業 業時数 ・必修の実験・ ・必修の演習の	はINKS株式 業時数 実習・実技)授業時数	t会社、株式会社OCC	D、関越ソフトウェア株 評価結果を掲載した	式会社 1,741 単位 211 単位 41 単位 1,376 単位 125 単位 41 単位	立時間立時間立時間立時間立時間	
第三者による 学校評価 当該学科の ホームページ URL 企業等と連携した	株式会社 マージ株3 ■民間の ※有の場合 https://w	デイ・アイ・シイ・ 式会社、株式会 評価機関下についます。、例えば以下についまでは、例えば以下についます。 評価団体: www.kbc.ac.jp/cont な時間による算定 総授業時数 うちっち	社国建システム 第三者評価: いて任意記載 ourse/it-special) 企業等と連携し 企業等と連携し 必修授業時数	ム、株式会を alist/basic/ た実験・実習 た演習の授業 等と連携した 等と連携した	主リウコム、C 受審年月: ・実技の授業 業時数 ・必修の実験・ ・必修の演習の	はINKS株式 業時数 実習・実技)授業時数	t会社、株式会社OCC	D、関越ソフトウェア株 評価結果を掲載した	式会社 1,741 単位 211 単位 41 単位 1,376 単位 125 単位	立時間立時間立時間立時間立時間	
第三者による 学校評価 当該学科の ホーURL と連携状と との実施した況 くる、Bいずれか	株式会社: マージ株式 ●民間の ※有の場合 https://w	デイ・アイ・シイ・ 式会社、株式会 評価機関下についまで、 「別では、例えば以下についまでは、例えば以下についまでは、 では、例えば以下についまでは、例えば以下についまでは、 では、例えば以下についまでは、例えば以下による算定 は、例えば以下についまでは、例えば以下による算定 は、例えば以下についまでは、例えば以下についます。 「う」では、一方では、「う」では、「う」では、「う」では、「う」では、「う」では、「う」では、「う」では、「う」では、「う」では、「う」では、「う」では、「から、「から、」では、いっ、「から、」では、いっ、「から、」では、いっ、「から、」では、「から、」では、「から、」では、いっ、「から、」では、いっ、「から、」では、いっ、「から、」では、いっ、「から、」では、い	社国建システム 第三者評価: いて任意記載 purse/it-special 企業等と連携し 企業等と連携し 必修授業時数 うち企業 うち企業	ム、株式会を alist/basic/ た実験・実習 た演習の授業 等と連携した 等と連携した	主リウコム、C 受審年月: ・実技の授業 業時数 ・必修の実験・ ・必修の演習の	はINKS株式 業時数 実習・実技)授業時数	t会社、株式会社OCC	D、関越ソフトウェア株 評価結果を掲載した	式会社 1,741 単位 211 単位 41 単位 1,376 単位 125 単位 41 単位	立時間立時間立時間立時間立時間	
第三者による 学校評価 当該学科の ホームページ URL 企業等と連携した 実習等の実施状況	株式会社: ■民の場合 ************************************	デイ・アイ・シイ・ 式会社、株式会 評価機関下についまでである。 で、例えば以下にのできます。 で、例えば以下にのできます。 で、のではよる算による算による算による第一でできます。 で、うまではよる第一でできます。	社国建システム 第三者評価: いて任意記載 purse/it-special 企業等と連携し 企業等と連携し 必修授業時数 うち企業 うち企業	ム、株式会を alist/basic/ た実験・実習 た演習の授業 等と連携した 等と連携した	主リウコム、C 受審年月: ・実技の授業 業時数 ・必修の実験・ ・必修の演習の	はINKS株式 業時数 実習・実技)授業時数	t会社、株式会社OCC	D、関越ソフトウェア株 評価結果を掲載した	式会社 1,741 単位 211 単位 41 単位 1,376 単位 125 単位 41 単位 0 単位	立時間 間 古時間 間 古時間	
第三者による 学校評価 当該学科の ホー URL と連携状と との実施 との実が もた況 とのまがすれか	株式会社: ■民の場合 ************************************	デイ・アイ・ 式会社、株等について で、人間では、 で、こので、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、	社国建システ 第三者評価: いて任意記載 ourse/it-special) 企業等と連携し 企業等業業時 うち企業 うち企業 ち企業等と連携	ム、株式会を alist/basic/ た実験・実習 た演習の授業 等と連携した もたインター	生リウコム、C 受審年月: 受審年月: 学時数 - 必修の実験・ - 必修の演習の	KINKS株式 実習・実持 ン授業時数 受業時数)	t会社、株式会社OCC	D、関越ソフトウェア株 評価結果を掲載した	式会社 1,741 単位 211 単位 41 単位 1,376 単位 125 単位 41 単位 0 単位 - 単位	立時間間間間間間間間間間間間間間間間間間間間間間間間間間間間間間間間間間間間	
第三者による 学校評価 当該学科の ホーURL と連携状と との実施した況 くる、Bいずれか	株式会社: ■民の場合 ************************************	デイ・ス ・アイ・大会社、 ・アイ会社、 ・アイ・大会社、 ・アイ・大会社、 ・アイ・大会社、 ・アイ・大会社、 ・アイ・大会社、 ・アイ・大会社、	社国建システム 第三者評価: いて任意記載 ourse/it-special) 企業等と連携し 企業等と等を登 うち企業 ち企業等と連携し	ム、株式会を alist/basic/ た実験・実習 た演習の授業 等と連携した もたインター	生リウコム、C 受審年月: 受審年月: 学・実技の授業 で必修の演習の ーンシップの技	KINKS株式 実習・実持 ン授業時数 受業時数)	t会社、株式会社OCC	D、関越ソフトウェア株 評価結果を掲載した	式会社 1,741 単位 211 単位 41 単位 1,376 単位 125 単位 41 単位 0 単位	立 時 時 間 間 間 間 間 間 間 間 間 間 間 間 間 間 間 間 間	
第三者による 学校評価 当該学科の ホー URL と連携状と との実施 との実が もた況 とのまがすれか	株式会社: ■民の場合 ************************************	デイ・ス ・アイ・大会社、 ・アイ会社、 ・アイ・大会社、 ・アイ・大会社、 ・アイ・大会社、 ・アイ・大会社、 ・アイ・大会社、 ・アイ・大会社、	社国建システ 第三者評価: いて任意記載 ourse/it-special) 企業等と連携し 企業等業業時 うち企業 うち企業 ち企業等と連携	ム、株式会を alist/basic/ た実験・実習 た演習の授業 等と連携した もたインター	生リウコム、C 受審年月: 受審年月: 学・実技の授業 で必修の演習の ーンシップの技	KINKS株式 実習・実持 ン授業時数 受業時数)	t会社、株式会社OCC	D、関越ソフトウェア株 評価結果を掲載した	式会社 1,741 単位 211 単位 41 単位 1,376 単位 125 単位 41 単位 0 単位 - 単位	立 時 時 間 間 間 間 間 間 間 間 間 間 間 間 間 間 間 間 間	
第三者による 学校評価 当該学科の ホー URL と連携状と との実施 との実が もた況 とのまがすれか	株式会社: ■民の場合 ************************************	テイ・ イ・ イ・ イ・ 大会社、 大会社、 大学に 大学に 大学に 大学に 大学に 大学に 大学に 大学に	社国建システム 第三者評価: いて任意記載 ourse/it-special) 企業等と連携し 企業等と等を登 うち企業 ち企業等と連携し	ム、株式会を alist/basic/ た実験・実習 た演習の授業 等と連携した もたインター	生リウコム、C 受審年月: 受審年月: 学・実技の授業 で必修の演習の ーンシップの技	KINKS株式 実習・実持 ン授業時数 受業時数)	t会社、株式会社OCC	D、関越ソフトウェア株 評価結果を掲載した	式会社 1,741 単位 211 単位 41 単位 1,376 単位 125 単位 41 単位 0 単位	立 時時 時時 時間 間間 間間 目 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	
第三者による 学校評価 当該学科の 小 URL と連携状と との実施 との実がする。	株式会社: ■民の場合 ************************************	テイ・ イ・ イ・ イ・ 大会社、 大会社、 大学に 大学に 大学に 大学に 大学に 大学に 大学に 大学に	社国主 京任 京任 京任 京任 京任 京任 京任 京任 京任 京任	ム、株式会を alist/basic/ た実験・授 を連携した た実験で また演習の単位 た実験の単位	生リウコム、C 受審年月: 受審年月: 学・実技の授業 で必修の演習の ーンシップの技	まける 実習・実持 の授業時数 受業時数)	t会社、株式会社OCC 無 数の授業時数	D、関越ソフトウェア株 評価結果を掲載した	式会社 1,741 単位 211 単位 41 単位 1,376 単位 125 単位 41 単位 0 単位	立 時時時時時時間間間間間間間間間間間間間間間間間間間間間間間間間間間間間間間	
第三者による 学校評価 当該学科の ホー URL と連携状と との実施 との実が もた況 とのまがすれか	株式会社: ■民の場合 ************************************	テイ・ イ・ イ・ イ・ 大会社、 大会社、 大学に 大学に 大学に 大学に 大学に 大学に 大学に 大学に	社国建者記載 Durse/it-special の企業等とと連携 企業等とと連携 企業等とと連携 企業等はからな業等とと連携 企業等はからなまままままままままままままままままままままままままままままままままままま	ム、株式会社 alist/basic/ た実験での を連携した た実験で また演習の もた まで ままままする。 たまままで まままする。 たまままで まままする。 たまままで たまままで たった。 たった。 たった。 まままで たった。 たった。 ままで、 たった。 たった。 たった。 たった。 たった。 たった。 たった。 たった	生リウコム、C 受審年月: 望・実技の授業 に必修の演習の ーンシップの哲 で表	まける 実際 実際 を と と と と と と と と と と と と と と と と と と	t会社、株式会社OCC 無 数の授業時数	D、関越ソフトウェア株 評価結果を掲載した	1,741 単位 211 単位 41 単位 1,376 単位 125 単位 41 単位 0 単位	立 時時時時時時時間間間間間間間間間間間間間間間間間間間間間間間間間間間	
第三者による 学校評価 当該学科の ホー URL と連携施状の と連携施状れ と実でのよっした況	株式会社: ■民の場合 ************************************	テイ・ ・ 大会 ・ 大 ・ 大 ・ 大 ・ 大 ・ 大 ・ 大 ・ 大 ・ 大	社国建者記載 Durse/it-special の企業等とと連携 企業等とと連携 企業等とと連携 企業等はからな業等とと連携 企業等はからなまままままままままままままままままままままままままままままままままままま	ム、株式会社 はist/basic/ た演習の を連携した た演習の に演習の に演習の に演習の には に対した。 にがした。 にがし、 にがした。 にがしが、 にがした。 にがしがし、 にがした。 にがしがした。 にがした。 にがした。 にがした。 にがした。 にがした。	土リウコム、C 受審年月: ・実技の授業・必修のの演習・実技の関連を表現である。 ・必修ののでは、 ・変技の関連を表現である。 ・変技の単位である。 ・必修のの演習の ・必修のの演習の ・必修のの演習の	tinks株式 等時数 実業等数 受業時数) 変数 実が変数	t会社、株式会社OCC 無 数の授業時数	D、関越ソフトウェア株 評価結果を掲載した	1,741 单位 211 单位 41 单位 1,376 单位 125 单位 41 单位 0 单位 单位位 单位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位	立 古 古 古 古 古 古 古 古 古 古 古 古 古 古 古 古 古 古 古	
第三者による 学校評価 当該学科の ホー URL と連携状と との実施 との実が もた況 とのまがすれか	株式会社: ■民の場合 ************************************	テイ・ ・ 大会 ・ 大 ・ 大 ・ 大 ・ 大 ・ 大 ・ 大 ・ 大 ・ 大	社国三年はな第5第5第6第5第72第62第722223334353536363637373839<	ム、株式会社 はist/basic/ た演習の を連携した た演習の に演習の に演習の に演習の には に対した。 にがした。 にがし、 にがした。 にがしが、 にがした。 にがしがし、 にがした。 にがしがした。 にがした。 にがした。 にがした。 にがした。 にがした。	土リウコム、C 受審年月: ・実技の授業・必修のの演習・実技の関連を表現である。 ・必修ののでは、 ・変技の関連を表現である。 ・変技の単位である。 ・必修のの演習の ・必修のの演習の ・必修のの演習の	tinks株式 等時数 実業等数 で変素を変数 変数 変数 変数	t会社、株式会社OCC 無 数の授業時数	D、関越ソフトウェア株 評価結果を掲載した	式会社 1,741 单位 211 单位 41 单位 1,376 单位 125 单位 41 单单位 41 单单位 41 单单位	立 古 古 古 古 古 古 古 古 古 古 古 古 古 古 古 古 古 古 古	
第三者による 学校評価 当該学科の ホー URL と連携状と との実施 との実が もた況 とのまがすれか	株式会社: ■民の場合 ************************************	ディ・ス大子	社国 連書 京 京 京 京 京 京 京 京 に に に に に に に に に に に に に	ム、株式会社 alist/basic/ た実験習の携しした 実演ととた た演と連インター たた演響である。 までも、 までもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでも	生リウコム、C 受審年月: 望・実技の受験・ に必修のの演 の方 で 要技のので で で で で で で で で で で で で で で で で で で	tinks株式 等時数 実業等数 で変素を変数 変数 変数 変数	t会社、株式会社OCC 無 数の授業時数	D、関越ソフトウェア株 評価結果を掲載した	式会社 1,741 单位 211 单位 41 单位 1,376 单位 125 单位 41 单单位 41 单单位 41 单单位	立 古 古 古 古 古 古 古 古 古 古 古 古 古 古 古 古 古 古 古	
第三者による 学校評価 当該学科の ホー URL と連携状と との実施 との実が もた況 とのまがすれか	株マージョン () () () () () () () () () (ディ・ス大子	社 第企 企 必を 全 と と で きを きを きを きを きを きを きを まで きで	ム、株式会・ はは、 はは、 はは、 はは、 はは、 はは、 はは、 はは	まり ・ 実 ・ 実 ・ 数 ・ 必 ・ 必 ・ 必 ・ 必 ・ と ・ 必 ・ と ・ 必 ・ と ・ と ・ と ・ と ・ と ・ と ・ と ・ と	は 実数 実数 実数 実数 実数 を数 と数 と数 と数 との との との との との との との との との との	t会社、株式会社OCC 無 数の授業時数	記では、関越ソフトウェア株の記では、関連した。 はいは、 はいはいは、 はいはいは、 はいはいはいはいはいはいはいはいはいはいはいはいはいはいはいはいはいはいは	式会社 1,741 单位 211 单位 41 单位 1,376 单位 125 单位 41 单单位 41 单单位 41 单单位	立 古 古 古 古 古 古 古 古 古 古 古 古 古 古 古 古 古 古 古	
第三者による 学校評価 当該学科の ホー URL と連携施状の と連携施状れ と実でのよっした況	株マージョン () () () () () () () () () (て式評() () () () () () () () () ()	社国位企企企<	ム、株式会・ はは、 はは、 はは、 はは、 はは、 はは、 はは、 はは	まり ・ 実 ・ 実 ・ 数 ・ 必 ・ 必 ・ 必 ・ 必 ・ と ・ 必 ・ と ・ 必 ・ と ・ と ・ と ・ と ・ と ・ と ・ と ・ と	LINKS株式 等時数 ・実数 ・数 ・数 ・数 ・数 ・単位数) ・(専修学	大会社、株式会社OCC 無無	説越ソフトウェア株評価結果を掲載したホームページURL(第1号)	1,741 单位 211 单单位 41 单单单单单单单单单单单单单单单 41 电单单 41 电电电电电电电电电电	立 古 古 古 古 古 古 古 古 古 古 古 古 古 古 古 古 古 古 古	
第三者による 学校科の 当該ムURL 学ペー URL 業等のい と連実をのい と連実をのいう	株マージョン () () () () () () () () () (て式評() () () () () () () () () ()	社第年企企的本企企的本中国主任第年第年第年第年中国主任第年第年第年第年中国主任2第年第年第年中国主任233中国主任333 <t< td=""><td>ム、株式会・ はは、 はは、 はは、 はは、 はは、 はは、 はは、 はは</td><td>まり ・ 実 ・ 実 ・ 数 ・ 必 ・ 必 ・ 必 ・ 必 ・ と ・ 必 ・ と ・ 必 ・ と ・ と ・ と ・ と ・ と ・ と ・ と ・ と</td><td> は (事 を) </td><td>大会社、株式会社OCC 無 数の授業時数 をの受業時数 をで設置基準第41条第1項</td><td>説 関越ソフトウェア株評価結果を掲載したホームページURL評価1号)(第1号)</td><td>1,741 单单 单 单 单 单 单 单 单 单 单 单 单 单 单 单 单 单 单</td><td>立 古 古 古 古 古 古 古 古 古 古 古 古 古 古 古 古 古 古 古</td><td></td></t<>	ム、株式会・ はは、 はは、 はは、 はは、 はは、 はは、 はは、 はは	まり ・ 実 ・ 実 ・ 数 ・ 必 ・ 必 ・ 必 ・ 必 ・ と ・ 必 ・ と ・ 必 ・ と ・ と ・ と ・ と ・ と ・ と ・ と ・ と	 は (事 を) 	大会社、株式会社OCC 無 数の授業時数 をの受業時数 をで設置基準第41条第1項	説 関越ソフトウェア株評価結果を掲載したホームページURL評価1号)(第1号)	1,741 单单 单 单 单 单 单 单 单 单 单 单 单 单 单 单 单 单 单	立 古 古 古 古 古 古 古 古 古 古 古 古 古 古 古 古 古 古 古	
第三者 学校 当該ム URL 当該ム URL 業等の との との との との との との とい との とい とい とい に に に に に に に に に に に に に	株マージョン () () () () () () () () () (て式評(www. kb に は	社第四企企的在企的	ム、株式会・ ははt/basic/ に大きりでは、 に大きりでは、 に大きりでは、 に大きりでは、 に大きりでは、 に大きりでは、 に大きりでは、 に大きりでは、 に大きりでは、 に大きりでは、 にないまでは、 にないないまでは、 にないまでは、 にないまでは、 にないまでは、 にないまでは、 にないまでは、 にないまでは、 にないまでは、 にないまでは、 にないないま	まり ・ 実 ・ 実 ・ 数 ・ 必 ・ 必 ・ 必 ・ 必 ・ と ・ 必 ・ と ・ 必 ・ と ・ と ・ と ・ と ・ と ・ と ・ と ・ と	 は (事 を) 	大会社、株式会社OCC 無無	説 関越ソフトウェア株評価結果を掲載したホームページURL評価1号)(第1号)	1,741 单单 单 单 单 单 单 单 单 单 单 单 单 单 单 单 单 单 单	立 古 古 古 古 古 古 古 古 古 古 古 古 古 古 古 古 古 古 古	
第三者による 学校科の 当該ムURL 学ペー URL 業等のい と連実をのい と連実をのいう	株マージョン () () () () () () () () () (て式評(www. kb に は	社第年企企的本企企的本中国主任第年第年第年第年中国主任第年第年第年第年中国主任2第年第年第年中国主任233中国主任333 <t< td=""><td>ム、株式会・ ははt/basic/ に大きりでは、 に大きりでは、 に大きりでは、 に大きりでは、 に大きりでは、 に大きりでは、 に大きりでは、 に大きりでは、 に大きりでは、 に大きりでは、 にないまでは、 にないないまでは、 にないまでは、 にないまでは、 にないまでは、 にないまでは、 にないまでは、 にないまでは、 にないまでは、 にないまでは、 にないないま</td><td>まり ・ 実 ・ 実 ・ 数 ・ 必 ・ 必 ・ 必 ・ 必 ・ と ・ 必 ・ と ・ 必 ・ と ・ と ・ と ・ と ・ と ・ と ・ と ・ と</td><td>LINKS株式 (数) (数) (要) (要) (要) (要) (要) (要) (の) (の)</td><td>大会社、株式会社OCC 無 数の授業時数 をの受業時数 をで設置基準第41条第1項</td><td>説 関越ソフトウェア株評価結果を掲載したホホームページURL評第1号)第2号)第3号)</td><td>1,741 单单 单 单 单 单 单 单 单 单 单 单 单 单 单 单 单 单 单</td><td>立 古 古 古 古 古 古 古 古 古 古 古 古 古 古 古 古 古 古 古</td><td></td></t<>	ム、株式会・ ははt/basic/ に大きりでは、 に大きりでは、 に大きりでは、 に大きりでは、 に大きりでは、 に大きりでは、 に大きりでは、 に大きりでは、 に大きりでは、 に大きりでは、 にないまでは、 にないないまでは、 にないまでは、 にないまでは、 にないまでは、 にないまでは、 にないまでは、 にないまでは、 にないまでは、 にないまでは、 にないないま	まり ・ 実 ・ 実 ・ 数 ・ 必 ・ 必 ・ 必 ・ 必 ・ と ・ 必 ・ と ・ 必 ・ と ・ と ・ と ・ と ・ と ・ と ・ と ・ と	LINKS株式 (数) (数) (要) (要) (要) (要) (要) (要) (の)	大会社、株式会社OCC 無 数の授業時数 をの受業時数 をで設置基準第41条第1項	説 関越ソフトウェア株評価結果を掲載したホホームページURL評第1号)第2号)第3号)	1,741 单单 单 单 单 单 单 单 单 单 单 单 单 单 单 单 单 单 单	立 古 古 古 古 古 古 古 古 古 古 古 古 古 古 古 古 古 古 古	
第三校 当ホ URL 第三校 学	株マージョン () () () () () () () () () (て式評(www. kb に は	社第四企企的在企的	ム、株式会・ ははt/basic/ に大きりでは、 に大きりでは、 に大きりでは、 に大きりでは、 に大きりでは、 に大きりでは、 に大きりでは、 に大きりでは、 に大きりでは、 に大きりでは、 にないまでは、 にないないまでは、 にないまでは、 にないまでは、 にないまでは、 にないまでは、 にないまでは、 にないまでは、 にないまでは、 にないまでは、 にないないま	まり ・ 実 ・ 実 ・ 数 ・ 必 ・ 必 ・ 必 ・ 必 ・ と ・ 必 ・ と ・ 必 ・ と ・ と ・ と ・ と ・ と ・ と ・ と ・ と	其	式会社、株式会社OCC 無 数の授業時数 をの単位数 で校設置基準第41条第1項で校設置基準第41条第1項	説 関越ソフトウェア株評価結果を掲載したホホームページURL評第1号)第2号)第3号)第4号)	1,741 单单 单 单 单 单 单 单 单 单 单 单 单 单 单 单 单 单 单	立 古 古 古 古 古 古 古 古 古 古 古 古 古 古 古 古 古 古 古	
第三者 学 当 当一 URL 第 学 学 ペー 当 は サペー シ との B 記 との B 記 との B 記 との B 記 に に に に に に に に に に で に で に で に で に で に	株マージョン () () () () () () () () () (て式評(www. は 時 授 が で) で で で で で で で で で で で で で で で で で	社第四企企的在企的	ム、株式会・ ははt/basic/ に大きりでは、 に大きりでは、 に大きりでは、 に大きりでは、 に大きりでは、 に大きりでは、 に大きりでは、 に大きりでは、 に大きりでは、 に大きりでは、 にないまでは、 にないないまでは、 にないまでは、 にないまでは、 にないまでは、 にないまでは、 にないまでは、 にないまでは、 にないまでは、 にないまでは、 にないないま	まり ・ 実 ・ 実 ・ 数 ・ 必 ・ 必 ・ 必 ・ 必 ・ と ・ 必 ・ と ・ 必 ・ と ・ と ・ と ・ と ・ と ・ と ・ と ・ と	其	大会社、株式会社OCC 無 をの授業時数 をの単位数 をで設置基準第41条第1項を でで設置基準第41条第1項を でで設置基準第41条第1項を でで設置基準第41条第1項	説 関越ソフトウェア株評価結果を掲載したホホームページURL評第1号)第2号)第3号)第4号)	1,741 单单单位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位	立 古 古 古 古 古 古 古 古 古 古 古 古 古 古 古 古 古 古 古	
第三者 学 当 当一 URL 第三校 学 3 当 1 以 2 以 3 以 3 第 5 以 4 と 5 と 6 と 7 と 7 と 8 と 8 に 1 と 7 と 8 に 1 と 7 に 1 と 7 に 1 と 7 に 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の 1 の	株マージョン () () () () () () () () () (て式評(水評 www.kbに に ま	社第四企企的在企的	ム、株式会・ ははt/basic/ に大きりでは、 に大きりでは、 に大きりでは、 に大きりでは、 に大きりでは、 に大きりでは、 に大きりでは、 に大きりでは、 に大きりでは、 に大きりでは、 にないまでは、 にないないまでは、 にないまでは、 にないまでは、 にないまでは、 にないまでは、 にないまでは、 にないまでは、 にないまでは、 にないまでは、 にないないま	まり ・ 実 ・ 実 ・ 数 ・ 必 ・ 必 ・ 必 ・ 必 ・ と ・ 必 ・ と ・ 必 ・ と ・ と ・ と ・ と ・ と ・ と ・ と ・ と	其	大会社、株式会社OCC 無 をの授業時数 をの単位数 をで設置基準第41条第1項を でで設置基準第41条第1項を でで設置基準第41条第1項を でで設置基準第41条第1項	説 関越ソフトウェア株評価結果を掲載したホホームページURL評第1号)第2号)第3号)第4号)	1,741 单单 单 单 单 单 单 单 单 单 单 单 单 单 单 单 单 单 单	立 古 古 古 古 古 古 古 古 古 古 古 古 古 古 古 古 古 古 古	
第三者 学 当 当一 URL 第 学 学 ペー 当 は サペー シ との B 記 との B 記 との B 記 との B 記 に に に に に に に に に に で に で に で に で に で に	株マーメ () () () () () () () () () (Table T	社第cr series	ム、株	t リウコ	EINKS株式 () 要	大会社、株式会社OCC 無 をの授業時数 をの単位数 をで設置基準第41条第1項を でで設置基準第41条第1項を でで設置基準第41条第1項を でで設置基準第41条第1項	説 関越ソフトウェア株評価結果を掲載したたい。証 第1号)(第2号)(第3号)(第4号)(第5号)	1,741 单单单位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位位	立 古 古 古 古 古 古 古 古 古 古 古 古 古 古 古 古 古 古 古	

- 1. 「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係
- (1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本 方針

本学科の目的を達成するために、情報通信産業界で必要とされる専門知識、地域における産業振興の方向性、新たな技術・技能等について十分に把握をするために、情報通信産業について専門的知見を有する企業の参画をえた教育課程編成委員会を設置し、当該委員会において、包括的カリキュラム(入学~卒業)および、単年度毎の開設する科目の内容およびその指導方法を検討し、情報通信産業界における職業人として実践的な知識・技能を習得するための実効性のある教育課程を編成する。

- (2)教育課程編成委員会等の位置付け
- ※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記
- ①学校管理運営規程の(委員会等の設置)第3条に教育課程編成委員会の設置が位置付けられており、教育課程は、 教育課程編成委員会に諮り、学科の目標に照らして校長が編成する。
- ②教育課程編成委員は、委員長(教務責任者)・学科責任者が参加することにより、企業等から提示された意見や提言を 速やかに次年度以降の教育課程(授業科目、授業方法・内容等)の編成に反映させることができる。
- ③教育編成委員会で決議された事項を、学校責任者及び本校校長に答申し審議を行う。採用された審議内容を 学校責任者から学科責任者へ伝達する。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和7年4月1日現在

名前	所 属	任期	種別
渡真利 哲	一般社団法人 沖縄県情報産業協会	令和7年4月1日~令和9年3月 31日(2年)	1
内間 研作	株式会社オーシーシー 技術サービス本部 ICTプラットフォーム部	令和7年4月1日~令和9年3月 31日(2年)	3
佃 昌宣	NTTコミュニケーションズ 株式会社	令和7年4月1日~令和9年3月 31日(2年)	3
大城 全輝	国際電子ビジネス専門学校	令和7年4月1日~令和9年3月 31日(2年)	_
赤嶺 達也	国際電子ビジネス専門学校	令和7年4月1日~令和9年3月 31日(2年)	_
喜友名 航	国際電子ビジネス専門学校	令和7年4月1日~令和9年3月 31日(2年)	_
長嶺 博紀	国際電子ビジネス専門学校	令和7年4月1日~令和9年3月 31日(2年)	_
今頭 翔太	国際電子ビジネス専門学校	令和7年4月1日~令和9年3月 31日(2年)	_

※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①~③のいずれに該当するか記載すること。

- (当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合、種別の欄は「一」を記載してください。)
 - ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、 地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
 - ②学会や学術機関等の有識者
 - ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員
- (4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回 (9月、3月)

(開催日時(実績))

第1回 令和6年9月11日 16:00~17:30 第2回 令和7年3月5日 16:30~17:30

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

人間関係の構築の重要性の指摘をいただき、昨年度単発クラスで導入していたヒューマンスキルの授業を新入生オリエン テーションで導入した。

委員からは、「入社した新入社員は人前で話すことが苦手だったりするので授業として取り入れておくと良い」との意見や、 また「チームでやる行動」もIT業務では大切であり、自身で行ったモノをアウトプットすることで経験につながる」など意見を いただき、グループディスカッションやコミュニケーションづくりを卒業制作に導入した

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

情報通信産業界における職業人として実践的な知識・技能を習得するために、主に講義等の座学で学んだ知識に基づき、 それらの知識を具体的にどの様に利用するのか、されているのかを理解するために、情報通信産業について専門的知見 を有する企業等と連携し、実務を体験(疑似体験含む)出来うる実習・演習等を実施する。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

上記方針を実現するために、教育課程における科目について、情報通信産業について専門的知見を有する企業等から職 員を講師として迎え、実務に関する実践的な技術・知識を習得するための授業、具体的にはWeb開発(Javaプログラミング) から基本的なシステム開発などの実習・演習を実施し、主に実践力(実務能力)を軸とした評価を行う。

(3)具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科 目 名	企業連携の方法	科目概要	連携企業等
開発実習 Ⅱ(応用)	1.【校内】企業等から の講師が全ての授業 を主担当		株式会社 琉球ネットワークサービス
セキュリティ演習		情報処理技術者に必要なセキュリティの基礎知識を講義を通して学習する。	株式会社 琉球ネットワークサービス

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

- (1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針
- ※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記
- ①情報通信産業について専門的知見を有する企業等の講師による、実務に関する知識、技術、技能の研修。
- ②授業・生徒に対する指導力を習得・向上するための研修を、教員個々の教育活動上の役割を考慮した上で計画を策定 し実施することで、情報通信分野における実務を教育内容や方法等の教育活動に反映する。
- ③学校法人KBC学園教職員研修規定第4条、第5条に基づき必要な知識技術の研修を実施。

(2)研修等の実績

①専攻分野における実務に関する研修等

情報処理安全確保支援士特定講習 インシデントハンドリ 研修名: 連携企業等:株式会社インターネットイニシアティブ ング実践コース

対象:情報スペシャリスト科職 期間: 45547

SOCサービスが検知したインシデント報告書をもとに、セキュリティ機器やサーバから必要なログを採取 し、発生しているインシデントの被害状況を把握し、初動対応から封じ込め、根絶に至るインシデントハンド 内容 リングを模擬環境で行います。発生したインシデントについては、再発防止策をグループで検討・発表する

ことで、インシデントハンドリングに関する一連の流れを習得していきます。

②指導力の修得・向上のための研修等

アクティブラーニング研修 連携企業等: YICグループ 研修名:

期間: 令和6年8月23日(金) 対象: 教務部職員

アクティブラーニングの定義、種類、効果、導入のメリットなどを体系的に学び、具体的な授業設計や実践 方法を習得します。また、従来の講義形式の授業との違いを明確にし、アクティブラーニング導入による

授業改善点を見つけるための視点と方法を学ぶ

(3)研修等の計画

内容

①専攻分野における実務に関する研修等

CCNA: Introduction to Networking v7.0 (ITN)研修 連携企業等:シスコシステムズ合同会社 研修名:

対象:情報スペシャリスト科職 期間: 2025年8月25日(月)~29日(金)

IP アドレス指定やイーサネットの基礎など、インターネットや最新のコンピュータ ネットワークを通じてユー ザー、デバイス、アプリケーション、データを接続するアーキテクチャ、モデル、プロトコル、ネットワーク要 内容

素について習得を行います

2指導力の修得・向上のための研修等

研修名: グーグルワークスペース活用研修 連携企業等: STスマイル

期間: 令和7年7月1日(火)~8月31日(日)※オンライン研修 対象:全職員

これまでアナログで行ってきた教育指導形態をデジタルにすることで、学生にとってより学びやすい環境を整える事を目的とする。効率的な情報管理や共同編集を可能にし、学事予定等のカレンダー活用や

GeminiやNotrbookLMといったAIを活用した文書作成・データ分析・情報収集能力を養う事を目的に教員ス

キルの向上を目的とする

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。 また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1)学校関係者評価の基本方針

内容

当校の教育理念は、高度な技能技術を身に付け、人間性豊かな永久戦力となる人財を育成する事である。この教育理念に基づき実践的な教育が実現できているか、また、その教育を実現する為に必要な環境が整っているかについて、学校関係者評価委員会を設置し、下記に示す評価項目から評価する。評価結果については、学校長を通じて即座に次年度の学校運営に反映させる。

校運営に反映させる。 (2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応 ガイドラインの評価項目 学校が設定する評価項目 ①教育理念・育成する人財像が、「学生の手引き」に記載されているか ②教育理念・育成する人財像が、教職員手帳等に記載されているか ③教育理念・育成する人財像が、HP、パンフレット・募集要項等に記 (1)教育理念•目標 載されているか ④学科の修業期間における教育事業計画が文書化され、提示されて いるか ①年度予算、中期計画が策定されているか ②予算は計画に従って妥当に執行されているか、定期的に確認して いるか ③理事会・評議委員会が定期的に開催されているか (2)学校運営 ④運営会議が定期的に開催されているか ⑤人事考課制度は文書化されているか ⑥賃金制度は文書化されているか ⑦採用制度は文書化されているか <u>⑧勤務管理が適正にされているか</u> ①教育理念の達成に向けた修業年限分のカリキュラムが文書化され ているか ②カリキュラム作成の為のカリキュラム作成委員会があるか ③カリキュラムを作成するに当たり、教育課程編成委員会を開催し業 界関係者等の外部関係者の意見を取り入れているか ④シラバス或いは講義要項等が作成されているか ⑤シラバス或いは講義要項等が事前に学生に配布されているか ⑥学生によるアンケート等による授業評価が定期的に行われている ⑦授業改善の為の組織的取り組みが行われているか. (3)教育活動 ⑧企業・施設等での職場実習があるか ⑨キャリア教育等を行っているか ⑩ビジネス教育を行っているか ①コミュニケーション能力の向上に向けた取り組みを行っているか ②教職員の育成計画等が策定されているか ③専門性や指導力等の向上の為の外部研修・研究へ派遣しているか (4)教員の資質の向上の為の、自己啓発への支援をしているか ⑤非常勤講師との定期的な情報共有の為のミーティング等を開催して いるか。および非常勤講師からの報告書が提出されているか ①就職に関する目標を設定したか ②就職に関する目標は教職員に共有されているか ③就職活動に関する記録がなされているか ④学生の就職結果に関して検証・報告がされたか ⑤資格・検定・コンペに関する目標を設定したか (4)学修成果 ⑥資格・検定・コンペに関する目標・計画が教職員に共有されているか ⑦資格・検定・コンペ結果に関して検証・報告がされたか ⑧進級率の目標を設定しているか ⑨進級率に関する目標・計画が教職員に共有されているか ⑩退学結果に関して検証・報告がされたか

(5)学生支援 (5)学生支援 (5)学生支援 (5)学生の画談・相談記録があるか (5)学生の画談・相談記録があるか (5)学生会制度等の経済的支援があるか (5)定期には難診断を行っているか (7)奨学金制度等の経済的支援があるか (6)企業時に健康診断を与いるなか (9)卒業生のの職業が必要にあるか (9)卒業生のの職業をしているか (9)卒業生のの職業をしているか (9)平全生のの職業を対応をしているか (9)中の対策が必要に対し、100円であるか (1)組織図はあるか (2)学校の年間スケジュールはあるか (3)図書室・図書コーナー等があるか (5)受理に関する規定が文書化・提示されているか (6)競技ニカ活動に関する規定が文書化・提示されているか (6)競技ニカ活動に関する規定が文書化・指示されているか (6)競技ニカ活動に関する規定が文書化・指示されているか (6)対策・100円の整理・整理・清掃に関する規定が文書化されているか (9)学校生活において保険に加入しているか (9)学校生活において保険に加入しているか (9)学校生活において保険に加入しているか (9)が変・情品等が定期的に管理・成校されているか (1)が数・15加別練に対して文書化・組織におれているか (1)が数・15加別練に対して文書化・組織におれているか (1)が数・15加別練・研修が定期的に管理・成校されているか (1)が数・15加別練・研修が定期的に管理・成校されているか (1)が数・15加別練・研修が定期的に対対にできる体制が出来ているか (2)学校案内等に学費・教材費・選抜の法等・10円のかのではい対対に来ているか (3)人学自己対し学習、学校生活の為のオリエンテーションは行われているか (3)人学者に対し学習、学校生活の為のオリエンテーションは行われているか (3)人学者に対し学習、学校生活の為のオリエンテーションは行われているか (3)株別教育を対策を対し、10円の表別を表別を表別されているか (3)株別教育の経費を対策情報の関の体制整備とできているか (3)株別教育の保護を持て保護のな規模と行っているか (3)株別教育の保護を対しているが (4)対別、15加別、15加別、15加別、15加別、15加別、15加別、15加別、15加		
②学校の年間スケジュールはあるか ③図書室・図書コーナー等があるか ④キャリアサポートを行う就職支援室・支援コーナー等があるか ⑤キャリアサポートを行う就職支援室・支援コーナー等があるか ⑤ キャリアサポートを行う就職支援室・支援コーナー等があるか ⑥ 環境エコ活動に関する規定が文書化・掲示されているか ⑥ 学内外実習時の安全対策に関して文書化されているか ⑥ 学内外実習時の安全対策に関して文書化されているか ⑥ 学内外実習時の安全対策に関して文書化も社でいるか ⑥ 学校学芸において保険に加入しているか ⑥ 学校学芸において際に加入しているか ⑥ 学校学芸において保険に加入しているか ⑥ 学校学内等に学費・教材費・選抜方法等が明示されているか ② 大学大に関する間い合わせ等に適切に対応で含る体制が出来ているか ② 大学に関する間い合わせ等に適切に対応で含る体制が出来ているか ② 大学大に関する間い合わせ等に適切に対応で含る体制が出来ているか ⑥ 大学者に対し学習、学校生活の為のオリエンテーションは行われているか ⑥ 大学者に対し学習、学校生活の為のオリエンテーションは行われているか ⑥ 大学者に対し学習、学校生活の為のオリエンテーションは行われているか ⑥ 大学者に対し学習、学校生活の為のオリエンテーションは行われているか ⑥ 小学校議明会等による情報提供を行っているか ⑥ 小学校議明会等による情報提供を行っているか ⑥ 小学校議明会等による情報提供を行っているか ⑥ 小学校議の場合が管理規定が文書化とれているか ② 物品購入等における複数業者からの確認がされているか ② 物品購入等における複数業者からの確認がされているか ② が扱い方式と表現ではいるか ② 施設を関値の集中で運が定期的に行われているか ⑥ が扱い方式と表現ではいるか ② 施設を開催の名の運用ルールが文書化されているか ⑥ お歌員の健康診断がなされているか ⑥ 自己点検・評価の名の運用ルールが文書化されているか ⑥ 教職員の健康診断がなされているか ⑥ 自己点検・評価の必要性を全教職員に表える機会を設けたか ⑥ 自己点検・評価の必要性を全教職員で共有する機会を設けたか ⑥ 自己点検・評価の必要性を全教職員で共有する機会を設けたか ⑥ 自己点検・評価の場を実施しているか ⑥ 自己点検・評価の場と全教職員で共有する機会を設けたか ⑥ 自己点検・評価の報告書があるか。公表されているか ⑥ 自己点検・評価の報告書があるか。公表されているか ⑥ 自己点検・評価の報告書があるか。公表されているか ⑥ 自己点検・評価の報告書があるか。公表されているか ⑥ 自己点検・評価の報告書があるか。公表されているか ⑥ 自己点検・評価の報告書があるか。公表されているか ⑥ 自己点検・評価のを要性を実施しているか ⑥ 自己点検・評価のは、デース・デース・デース・デース・デース・デース・デース・デース・デース・デース・	(5)学生支援	②担任は、適切に配置されているか ③学生のメンタルヘルスについて相談できる窓口が整備されているか ④学生指導に関する教職員の相談に応じる体制があり、周知されているか ⑤学生の面談・相談記録があるか ⑥定期的に健康診断を行っているか ⑦奨学金制度等の経済的支援があるか ⑧保護者との計画的な相談会・面談を行っているか ⑨卒業生の会(同窓会等)はあるか ⑩卒業生への職業紹介をしているか
②学校案内等に学費・教材費・選抜方法等が明示されているか ③入学に関する問い合わせ等に適切に対応できる体制が出来ているか 4学校説明会等による情報提供を行っているか ⑤入学者に対し学習、学校生活の為のオリエンテーションは行われているか ⑥入学校法における財務情報公開の体制整備はできているか ②和立学校法における財務情報公開の体制整備はできているか ③備品及び車両に関する管理規定が文書化・管理されているか ④物品購入等における複数業者からの確認がされているか ⑥を設し、「のでは、「のでは、「のでは、「のでは、「のでは、「のでは、「のでは、「のでは	(6)教育環境	②学校の年間スケジュールはあるか ③図書室・図書コーナー等があるか ④キャリアサポートを行う就職支援室・支援コーナー等があるか ⑤喫煙に関する規定が文書化・提示されているか ⑥環境エコ活動に関する規定が文書化・掲示されているか ⑦学内の整理・整頓・清掃に関する規定が文書化されているか。また 定期的に管理、チェックがされているか ⑧学内外実習時の安全対策に関して文書化されているか ⑨学校生活において保険に加入しているか ⑩教育施設・備品等が定期的に管理・点検されているか ⑪防災・防犯対策に対して文書化・組織化されているか
(8)財務	(7)学生の受入れ募集	②学校案内等に学費・教材費・選抜方法等が明示されているか ③入学に関する問い合わせ等に適切に対応できる体制が出来ているか ④学校説明会等による情報提供を行っているか ⑤入学者に対し学習、学校生活の為のオリエンテーションは行われて
②セクシャルハラスメントに関する規定が文書化されているか ③施設設備の保守・管理が定期的に行われているか ④防災・防犯設備(非常灯・消火器・警備システム等)が整備・点検されているか ⑤教職員の健康診断がなされているか ⑥自己点検・評価の為の運用ルールが文書化されているか ⑦自己点検・評価の組織があるか ⑧自己点検・評価の必要性を全教職員に伝える機会を設けたか ⑨自己点検・評価の必要性を全教職員に伝える機会を設けたか ⑨自己点検・評価の結果を全教職員に伝える機会を設けたか ・ 回自己点検・評価の結果を全教職員に伝える機会を設けたか ・ 回自己点検・評価の結果を全教職員に伝える機会を設けたか ・ 回自己点検・評価報告書があるか。公表されているか ・ 回自己点検・評価報告書があるか。公表されているか ・ ②教育資源を地域活動・地域貢献・ボランティア活動等)を実施しているか ・ ②教育資源を地域社会に提供しているか ・ ③社会的活動(地域活動・地域貢献・ボランティア活動等)を奨励・支援しているか ・ (11)国際交流	(8)財務	②私立学校法における財務情報公開の体制整備はできているか ③備品及び車両に関する管理規定が文書化・管理されているか
(10)社会貢献・地域貢献	(9)法令等の遵守	②セクシャルハラスメントに関する規定が文書化されているか ③施設設備の保守・管理が定期的に行われているか ④防災・防犯設備(非常灯・消火器・警備システム等)が整備・点検されているか ⑤教職員の健康診断がなされているか ⑥自己点検・評価の為の運用ルールが文書化されているか ⑦自己点検・評価の組織があるか ⑧自己点検・評価の必要性を全教職員に伝える機会を設けたか ⑨自己点検・評価の結果を全教職員で共有する機会を設けたか。結果に基づき計画的に改善を実施しているか
	(10)社会貢献·地域貢献	②教育資源を地域社会に提供しているか ③社会的活動(地域活動・地域貢献・ボランティア活動等)を奨励・支
	(11) 国際交流	

(3)学校関係者評価結果の活用状況

委員より就職することが目標ではなく、その後のキャリア目標を立てさせることが必要であり(就職は手段であり目的ではな い)人生の目的を探す・考える教育をして欲しいと指摘を受け、学期のはじめに「夢づくりシート」を学生に書かせ、その後担 任と面談することにより、目標を明確にする仕組みを導入。また退学者の人数の確認と指摘をいただいた。企業ではセルフ コンディションチェックなどで社員のメンタル的な健康面を管理しているという意見を参考に、学生のストレスやメンタル、モ チベーションを把握するためのツールとして「サカセルラボ」を導入。

(4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿

名 前	所 属	任期	種別
佐久川 尚子		令和7年4月1日~ 令和9年3月31日(2年)	企業委員
渡真利 哲	1、四、盆、目、) 注一类 6、 辛 12, 6	令和7年4月1日~ 令和9年3月31日(2年)	企業委員
安里 健	大城眞徳税理士事務所	令和7年4月1日~ 令和9年3月31日(2年)	企業委員
平安山良真	株式会社あしびかんぱに一	令和7年4月1日~ 令和9年3月31日(2年)	企業委員

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

))

))

URL: https://www.kbc.ac.jp/disclosure/

公表時期: 令和7年5月31日

- 5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況 に関する情報を提供していること。」関係
- (1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針
- ①実践的な職業教育における成果を広く周知することにより、入学希望者の適切な学習機会選択に資する事。 その為に、学校関係者評価結果も含めて教育活動の状況や課題等学校全体に関する情報を分かり易く示す事。
- ②又、上記①により企業等との連携による教育活動改善を活発にし、社会全体の信頼につなげていく事。
- ③情報の公開を通じて学校の教育の質の確保と向上を図る事を目的とする。
- (2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	①学校の沿革 ②教育理念 ③特徴 ④所在地、連絡先
(2)各学科等の教育	①収容定員 ②カリキュラム ③資格取得実績 ④検定試験合格実績 ⑤就職状況
(3)教職員	各学科の担当教員紹介
(4)キャリア教育・実践的職業教育	就職支援等への取組状況
(5)様々な教育活動・教育環境	学校行事
(6)学生の生活支援	学生支援への取組状況
(7)学生納付金・修学支援	①学生納付金 ②学費免除等の紹介
(8)学校の財務	学園の財務状況公開
(9)学校評価	自己点検·学校関係者評価結果
(10)国際連携の状況	
(11)その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法

●ホームペ-

広報誌等の刊行物 ・ その他(

URL: https://www.kbc.ac.jp/disclosure/

令和7年7月31日 公表時期:

授業科目等の概要

	(工業専門課程 情報スペシャリスト科 (2年制))															
		分類	į						授業方法			場	所	教	員	
	必修	選択必修	由選	授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期		単位数		演習	実験・実習・実技		校 外	専任		企業等との連携
1	0			総合学習(H R・各種行 事)	各種行事の企画や運営を通して主体性を育 み、コミニュケーション力を高める。	1 通	104		Δ		0	0		0		
2	0			概論 I A(コン	コンピュータの動作原理を学ぶ事を目的とする。コンピュータのハードウェアに関する知識および、基礎となる数学的知識について学習する。	1 前	62		0			0		0		
3	0				システム開発の手法およびマネジメント、 経営戦略・法務について学習する。	1 前	61		0			0		0		
4	0			概論ⅢA(シス テム 開 発 技	データベース(SQL構文、正規化)、ネットワーク(OSI参照モデル、TCP/IPプロトコル)、情報セキュリティ(攻撃手法、暗号化技術)についての基礎知識を学習する。	1 前	62		0			0		0		
5	0			プログラム設 計 I A	ソフトウェアの作成の際の設計について学 ぶ事を目的とする。代表的なアルゴリズム (流れ図・疑似言語・配列)を学習する。		60		0		Δ	0		0		
6	0				プログラミング言語について、高度な文 法、構造などの応用的な内容を講義と実習 を通して学習する。	1 前	60		0		Δ	0		0		
7	0			ITリテラシー 実習	Windowsの基本操作を学ぶことを目的とする。 コンピュータのソフトウェアに関する知識 及びセキュリティに関する知識について学 ぶ。	1 前	42		0		Δ	0		0		
8	0			ビジネスマ ナーIA	社会人として必要とされる基本的なマナー (ビジネスマナー)について講義と実習を 通して学習する。	1 前	16		Δ		0	0		0		
9	0			キャリアデザ イン I	社会の構造、企業の構造など、社会人に とって基本的な素養を学習し、就職活動の 具体的な進め方について学習する。	1 前	22		0		Δ	0		0		
10	0			志学 I	キャリア教育の実現の鍵は専門能力および 発揮できるカ(人間性)であることを知 り、永久戦力を目指す上での自己のあり方 を考える。	1	21		Δ		0	0		0		
11	0			概論 I B(コン ピュータ 概	コンピュータの動作原理を学ぶ事を目的とする。コンピュータのハードウェアに関する知識および、基礎となる数学的知識について学習する。		33		0			0		0		
12	0				システム開発の手法およびマネジメント、 経営戦略・法務について学習する。	1 後	40		0			0		0		

授業科目等の概要

	(工業専門課程 情報スペシャリスト科(2年制))															
		分類							授業方法				場所			
	必	選択立	自由	授業科目名	授業科目概要	配当年次。	業	単位	講	演	実験・実習	校	校	専	兼	企業等との
	修	必修	選 択			· 学 期		数	義	習	音 実 技	内	外	任	任	連携
13	0			概論ⅢB(シス テム開発技	データベース(SQL構文、正規化)、ネットワーク(OSI参照モデル、TCP/IPプロトコル)、情報セキュリティ(攻撃手法、暗号化技術)についての基礎知識を学習する。	1 後	50		0			0		0		
14	0			計IB	ソフトウェアの作成の際の設計について学ぶ事を目的とする。代表的なアルゴリズム (整列・データ構造・実践アルゴリズム)を 学習する。	1 後	48		0		Δ	0		0		
15	0				プログラミング言語について、高度な文 法、構造などの応用的な内容を講義と実習 を通して学習する。	1 後	70		0		4	0		0		
16	0				情報処理技術者に必要なセキュリティの基 礎知識を講義を通して学習する。	1 後	57		△	0		0		0		0
17	0			キャリアデザ インⅡ	社会の構造、企業の構造など、社会人に とって基本的な素養を学習し、就職活動の 具体的な進め方について学習・演習する。	1 後	49		0		Δ	0		0		
18	0			ビジネスマ ナーIB	就職活動時に必要とされる基本的なマナー (ビジネスマナー)について講義と実習を 通して学習する。	1後	18		0		Δ	0		0		
19	0			総合学習(H R · 各種行 事)	各種行事の企画や運営を通して主体性を育 み、コミニュケーション力を高める。	2 通	63		0		Δ	0		0		
20	0			情報処理技術 者試験演習	基本情報技術者試験取得に向け科目A・Bに ついて講義を通して学習する	2 前	107		0		Δ	0		0		
21	0				プログラミング言語について、高度な文 法、構造などの応用的な内容を講義と実習 を通して学習する。		85		Δ		0	0		0		
22	0			開発実習Ⅰ(基礎)	コード管理(Git)の使用方法、基本設計、詳細設計などシステム開発を行う際の設計を講義を通して学習する。	2 前	104		Δ		0	0		0		
23	0			キャリアデザ インⅢ	社会の構造、企業の構造など、社会人に とって基本的な素養を学習し、就職活動の 具体的な進め方について学習・演習する。	2 前	103		Δ		0	0		0		
24	0				PHP言語を用いたプログラム作成方について 講義と実習により学習する。	2 前	102		Δ		0	0		0		
25		〇※選2		データベース 入門 I (OSS- DB)	データベースの基礎知識及び、言語につい て学習し、データベースを利用するための 基本的な能力を身につける。	2 後	77		0		Δ	0		0		

授業科目等の概要

				課程 情報ス	ペシャリスト科(2年制))											
		分類	Į .				1==		授	業フ		場所		教	員	
	必修	択必	自由選択	授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	講義	演習	実験・実習・実技	校内	校 外		·	企業等との連携
26		〇 ※ 選 2		開発実習Ⅱ (応用)	チーム開発を通しチーム内でのコミュニ ケーションの取り方、開発方法など円滑な 進め方について学習・演習する。	2 後	73		Δ		0	0		0		0
27		〇※選2		ビジネスマ ナーⅡ	社会人として必要なビジネスマナーを学習 することで、入社後の研修を円滑に進める ために実習を通して学習する。	2 後	16		Δ		0	0		0		
28		〇※選2		Ш	Web開発についてフロントエンドからバック エンド、フレームワークの活用方法、セ キュリティからアプリのデプロイまでを学 習する。	2 後	71		Δ		0	0		0		
29		〇※選2			個々で目標を設定し、スケジュール管理から目標達成までの課程を体系的に学習す る。		65		Δ		0	0		0		
30		〇※選3		企業実習	インターンシップを含め、実際の企業で実 習を行う。	2 後	302		Δ		0	0		0		
	·	·	合	<u> </u>	30	科	科目 1741 単位(単位時間				引)					

- | _______| | ※選択1の中から、1科目選択 | ※選択2、または選択3のいずれかを選択

卒業要件及び履修方法	授業期間等				
1、成績評価、科目試験・課題提出・検定試験及び授業態度、出席状況を考慮して行い、その評価に基づいて教育課程の修了又は卒業の認定を行う。 2 卒業に必要な総時間数は次のとおりとする。 (1)2年制課程 1,700時間以上 (2)3年制課程 2,400時間以上 (3)4年制課程 3,400時間以上 (学則第3章 第8条より抜粋)	1 学年の学期区分	2 期			
履修方法:必修科目は学科在席者全員が履修	1 学期の授業期間	24 週			